

THE LETTER 宇都宮東教室

第18号 「面談期間中」

発刊日 2026年1月28日

文責 熊澤洋一

現在、保護者面談期間中で、一部の授業を変更休校にして実施しております。そんな中で多く聞かれる「声」をお届けします。

期末テストが近づいてきました。ついこの間入学したばかりの1年生も、まもなく2年生。先輩になります。特にこの時期から、親の「言うこと」を聞かなくなるというか、「素直に受け入れられなくなる」というか…。一方で学校や塾では「言われたことをしっかりやり、提出物も出ています」と言われ…。ほんとに「うちの子大丈夫のかしら」、と心配する声が聴こえてきます。中2病とか思春期、反抗期など呼び名は様々、もちろん個人差はありますが、いたって「普通」の事案です。むしろ順調に成長していると言えるので、どうぞご安心ください。一過性のものであり、さほど長くは続きません。何か言って家庭不和になるくらいなら「先生」に任せてください。「先生」の言うことは驚くほど「素直」に聞き入れます。事実、私自身も息子が中2のころは、1年半くらい話した記憶はないです。が、今では立派な社会人です。

工業高校はどうですか、のような「専門」への進路についてもよく聞かれます。医者を目指すなら「医学部」に進まなければ…のように自分の目標が明確ならそこを目指すべきですが、中学生の「将来の夢は」の問いには、「特がない」「わからない」という声が大半です。であれば、「5教科学習し普通科を目指す」このほうがよいと考えます。普通科の高校に進み、文理に別れ、将来「やりたいこと」の選択肢を進んだ先で選んでいく。多くの選択肢を持ちながら進級できるのが「普通科」の特徴です。高校、もちろん大学も、進路選びは時間をかけて、慎重に決めたいですね。

お気づきの点がございましたら教室までご連絡下さい。